

1 単元名 さまざまな面からとらえた日本

2 目標

- (1) 世界や日本の地理的事象に関心をもち、それらに対して意欲的に追究しようとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) 世界全体、日本全体、国内の事例地域という異なる地域スケールで、さまざまな地理的事象について比較、考察ができる。
(思考・判断)
- (3) 世界や日本の地域的特色を理解するために、地図や統計、グラフなどから地理的事象の特徴を読み取ることができる。
(技能・表現)
- (4) 「自然環境」「人口」「地域間の結びつき」「生活・文化」「資源・産業」の5つの視点から、世界や日本の諸地域における地理的事象の特色を理解することができる。
(知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容項目「(3) ア 様々な面からとらえた日本」において、世界的視点から見た日本の地域的特色と日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を追究し、我が国の国土の特色を様々な面から大観させることをねらいとしている。また、地域の規模や地域間の比較や関連から、地域的特色を明らかにする視点や方法を身に付けさせることもねらっている。そのために、日本の(ア)自然環境から見た日本の地域的特色、(イ)人口から見た日本の地域的特色、(ウ)資源や産業から見た日本の地域的特色(エ)生活・文化から見た日本の地域的特色、(オ)地域間の結びつきから見た日本の地域的特色の5つの項目から構成されている。各項目についての国土の特色を、世界的視野から日本全体を見たり、国内の地域間の比較や関連づけの中から類似性や傾向性に注目して明らかにしたりするとともに、地域的特色を明らかにする調べ方や学び方を身につけさせる単元である。

(2) 生徒の実態

生徒の実態調査(平成〇年〇月〇日実施 第2学年〇組 27名)

積雪量とスキー場の分布を表した統計地図を見て答える問題	①雪の多い地域(自由記述)	北海道や東北、新潟 18名 誤答(北、西日本) 4名	日本海側 4名 分からない・無答 8名
	②①の理由(自由記述)	気温が低いから 7名 誤答(北極に近い、経度が上) 2名	高い山があるから 1名 分からない・無答 17名
	③統計地図の読み取り(正解に○)	(○) 雪が多いのは日本海側 (○) スキー場の分布は偏っている (×) 四国は全く降らない	正答 21名 正答 15名 誤答 3名
統計からグラフに表すこと	得意 0名 どちらかといえば得意 8名 少し苦手 15名 大変苦手 4名		
カルトグラムを知っているか?	知っている 0名 聞いたことはある 1名 知らない 26名		

本学級の生徒の普段の学習や県学力診断のためのテストの結果を分析すると、資料の単純な読み取りはできるが、複数の資料を使ったり、資料から分かることの原因や理由を考察したりすることは苦手としている生徒が多い。これは、今回の県別の積雪量を表した統計地図を見て答える問題の調査結果も同様といえる。分布図を読み取る①と③については、誤答はあるものの、半数以上の生徒は正しく読み取っている。しかし、雪が多い理由を考える②について明確に答えることができた生徒はいなかった。そして、「分からない」と「無答」が17名であったように、分からなくても既習事項や生活体験から推測したり予想したりすることが苦手な生徒が多く見られる。また、地図やグラフに表すなどの地理的技能も苦手と感じている生徒が多い。

(3) 指導観

本単元は写真や統計地図、グラフ等さまざまな資料を使いながら、日本の地域的な特色を明らかにしていく学習なので、生徒が苦手な分野であるといえる。そこで、単元の導入として、日本地図のカルトグラムを作成し、日本の特色を楽しく読み取り、考える活動の特設した。カルトグラムとは変形地図のことで、実際の形を意識しながら、マス目を基準にその数量を表現していくものである。地理的な内容の理解に加え、思考力と表現力を育成するねら

いがある。カルトグラムの作成やクイズを行うことを通して、地理的な見方や考え方や地図の読図や作図などの地理的技能を高めたい。題材には「データで見る県勢2010版」のデータを扱うことにした。数字による統計を地図に表したり、作成したカルトグラムから都道府県の特徴を推測したりすることで資料を読み取る力を高めるとともに、カルトグラムという新たな表現方法を身につけさせたい。実態調査から分かるように、カルトグラムという地図を知っている生徒はほとんどいない。そのため、新鮮な気持ちで取り組むことが予想され、学習に対する関心を高めることができると考える。

また、作図やクイズに取り組む活動をグループ活動を中心に組み立てることで、友達との教え合い・学び合いにより、学習内容が深まるものと考えている。その際、TTにより、個人やグループに対してきめ細かな支援を行うよう心がけたい。

(4) テーマとの関連

単元の導入で、クイズを作成し互いに解き合う活動を取り入れることにより、自分の考えをもとにグループで話し合い、学び合う活動への意欲を高めたい。また、考えの根拠を明確にして友だちを納得させる力を高めていくとともに、友だちの考えをしっかりと聞いて自分の考えと比較検討し、自分の考えをより明確に優れたものにしていく力を育てていきたい。そのような活動を重ねることによって、世界的視野からみた日本の特色や日本の地域的な特色についての理解を深めさせたい。

4 学習計画 (27時間取り扱い)

第1次 カルトグラムで日本をさぐる。 4時間

時 間	学習内容	観点別項目				評価規準
		関	思	技	知	
1	カルトグラムを知る				○	カルトグラムについて理解し、都道府県の人口をテーマにしたカルトグラムを作っている。
2 3	カルトグラムを作る			○		班で選んだテーマをもとに、各自が資料をもとにカルトグラムを作っている。
④ (本時)	カルトグラムクイズに挑戦する	○				カルトグラムのクイズで答えを考えたり、他の解答を聞いたり、解答を説明したりする活動を通して、考えたことや感じたことをワークシートにまとめようとしている。

第2次 自然環境の特色をとらえよう 7時間

第3次 人口の特色をとらえよう 4時間

第4次 地域間の結びつきの特色をとらえよう 4時間

第5次 生活・文化の特色をとらえよう 4時間

第6次 資源や産業の特色をとらえよう 4時間

5 本時の学習

(1) 目標

カルトグラムクイズを通して、日本の国土や気候、人口、産業、生活状況についての日本の特色を意欲的に追究し、とらえようとする。

(2) 準備・資料 各班からのカルトグラム、ワークシート、統計データ

(3) 展開 ※ 本時における話し合い活動 (下線部)

学習内容及び活動	学習形態	指導と評価 (Eは評価)	
		T 1	T 2
1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">この地図のテーマは何？</div> ・クイズの進め方や時間配分について知る。	一斉	・前時までに準備した各グループのカルトグラムを使って、「この地図のテーマは何？」というクイズを行うことを伝える。 ・T 1が例示したカルトグラムのテーマをT 2が根拠をもとに解答し、本時のクイズ形式の学習展開を理解させる。	

<p><クイズの進め方> ①個人でクイズの答えを考える。 ②グループごとにクイズの答えを話し合う。 ③順に答え合わせを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> クイズの進め方や時間配分を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子を観察する。必要に応じて、補足説明をする。
<p>2 クイズを行う。 (1) ギャラリートークの形式で個人で作品を見て回り、自分のグループ以外のカルトグラムについて、何を表したカルトグラムなのかを理由をつけてワークシートに書き込む。</p>	個人	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと相談してよいことと、必ず理由を書くことを確認する。 自分のグループ以外の3つのグループの作品について考えるようにするが、早く終わった生徒にはそれ以外にも挑戦するよう指示する。 つまづいている生徒には、図の大きをいっしょに確認したり、カルトグラムの基になる統計データを見せたりしながら、自分なりの理由が見つかるよう支援する。 生徒の様子を観察しながら、効果的な助言ができるように、T1とT2が連絡を取り合いながら支援に当たる。 	
<p>(2) <u>各自の答えをもとに、グループで話し合い、自信のあるものを3つ選ぶ。</u> <予想される解答> ・沖縄や鹿児島は赤道に近い方にあるので気温が高いから、気温を表したものである。 ・北海道や東北、北陸は雪が多いので、スキー場の数を表したものである。 ・青森や長野はリンゴ、和歌山や愛媛はミカン作りがさかんなので、果物の生産量を表したものである。 ・滋賀には琵琶湖、茨城には霞ヶ浦があるので、湖沼の面積を表したものである。 ・東京や大阪は面積は小さいけれど人口が多いので、人口密度を表したものである。</p>	グループ	<ul style="list-style-type: none"> 各自が考えた答えを持ち寄り、グループの友だちと検討した中から自信のあるものを3つ選び、理由をつけて説明することを確認する。 1～3班を担当し、机間指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～7班を担当し、机間指導をする。
<p>(3) <u>クイズの答えについて話し合う。</u></p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 答えの根拠を明確にして発表するように指示する。 必要に応じて、補足発問や説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子を観察し、必要に応じてT1とともに補足説明をする。
<p>3 本時のまとめをする。 ・クイズを通して考えたことや感じたことをワークシートに書き、発表し合う。 <予想される生徒のまとめ> ・都道府県や地域ごとにいろいろな特色がある。 ・カルトグラムのように、いろいろな表現の仕方がある。</p>	一斉	<p>E カルトグラムのクイズで答えを考えたり、他の解答を聞いたり、解答を説明したりする活動を通して、考えたことや感じたことをワークシートにまとめようとしている。 (ワークシート、発表：関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後つくってみたいカルトグラムについての生徒の考えを引き出し、次の学習への興味・関心を高める。 次時は、自然環境の特色についての学習であることを知らせる。 	